

箱根組ニュース

第381号 2025年 2月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

2025年の幕開けは、白い馬の立つ陣馬山に8名。陣馬高原口から陣馬街道経由で登頂。

2025年、1月19日(日)京王線新宿駅6時50分発の特急京王八王子行きに乗車。ホームに集まったのは、川名夫人、有倉、佐藤、及川、和田、戸丸。途中の調布駅で奥村が乗車。北野で高尾行きに乗り換え、7時40分、高尾駅に到着。

京王線高尾駅のホームからJR乗り換えだが、北口通り抜けという改札を通過して、JR高尾駅北口改札を出る。

駅前の広場の左側に陣馬高原下行のバス停がある。まだ人の少ないバス停に西川さんが待っていた。というわけで、川名夫人、有倉、佐藤、及川、和田、奥村、西川、戸丸の8名が揃った。

待っているうちにバス停は、どんどん乗客の列が増えて行って長い行列になった。何台か違う行き先のバスが出て行って、しばらくすると臨時の特急陣馬高原下行きのバスが到着。回送車として停まっていたバスが特急バスに変身した。定刻発は8時10分だったが、3分ほど早く出発した。早めに着いていた8名

はゆっくり座れた。特急バスは途中の夕焼け小焼けバス停以外は停まらなかった。

8時40分頃、陣馬高原下バス停に到着。トイレは大行列だった。各自ストレッツチと身支度をする。

9時2分、及川さんの先頭で出発。まずは車道の陣馬街道の緩い上りだ。街道はすぐに右に曲がり栃谷川に架かる橋を渡る。栃谷川は沢井川と合わさり相模湖に流れてゆく。沢は左側に流れている。川に流れ込むパイプから出た水は白い水柱になつて造形物を作っていた。

9時10分、車両通行止のゲートが立ちふさがっている。2月下旬までは歩行者自転車以外は通れないと書いてある。ゲート右側の狭い通路から入って行く。通行止めのおかげで車が来ないので安心してのんびりと歩ける。

9時28分、左側に車道が直角に分岐しているがそれを過ぎるとすぐに陣馬新道登山口に到着。休憩。

9時36分、再出発。車道は和田峠方



面に続いていますが、山道はいったん左に降りるようにつながっている。ちなみに和峠に車を置いて陣馬山に登れば20分位で山頂に着くらしい。急いで山頂に向かいたい方はこれも一つの手かも知れない。

暫くは針葉樹の植林地を進んでゆく。9時38分、木製の橋で沢を渡る。手前にはベンチがある。小さな沢だが水はきれいだ。数分でもう一度橋を渡り返す。その先で山道は右に直角に曲がってゆく。

9時45分。山道は次第に傾斜がきつくなってくる。木の根が多くなり、雨で道が流れて赤土がむき出しの部分は段差が大きく歩きにくい。

植林は杉から桧に代わったようだ。林に差し込む朝日が道に明るく差し込む。10時23分、すこし緩やかな広めの

収支	
繰越	20925 円
支出	
ニュース/HP 作成	500 円
当日プリント代	80 円
現在高	20345 円

尾根になる。その後一旦平坦な尾根になる。右側が自然林、左はまだ檜林だ。

10時59分、道は右に曲がり正面の山を迂回するようにはトラバースして行く。斜面の横についている道は、右側はかなり落ち込んでいます。この辺りは完全な落葉樹の自然林だ。

11時2分、右、和峠0.4キロ。左、陣馬山頂0.4キロ地点分岐。山頂直下で少し道は入り組んでくる。

11時6分、右に広い道が出るが、直進の細い道を進む。

空が広くなり、山頂エリアに到着。右に公衆トイレ、左側は東屋だ。すぐ先右側は信玄茶屋。その右奥には清水茶屋がある。階段状の道を登ると山頂の白い馬のすつくと立つピークだ。

11時13分、山頂着。出発から休憩含めて2時間11分とかなり良い成績だ。

馬と一緒に記念撮影。その間に馬横の六角のテーブルが空いたのでここで昼食タイム。

景色は富士山こそ見えな

集合 2月22日(土曜日)

JR新宿駅 7:44 発 (11番線)
ホリデー快速おくたま3号青梅行き
(前から3両目車内)

途中駅発

中野 7:49 三鷹 7:58 国分寺 8:05

立川 8:12

西立川 8:16 (五日市線乗換)

8:23 発 武蔵五日市行き

武蔵五日市 8:50 着

交通費 新宿～武蔵五日市 片道824円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegum>

※申し込み締め切りは 2月20日(木)

※何か汁物を作ります。

○持ち物 お弁当、食器、箸、飲料水、非常食、カッブ、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

武蔵五日市駅から左方向へ進みます。山頂には三内神社の本社があります。山頂から山道の下り坂で横沢入へ向かいます。横沢入は田んぼや自然林が気持ちいいです。

※2月、3月は土曜日です、ご注意ください。

※階段状や、山道の登りがありますが、少し頑張れば山頂です。

2月22日(土曜日) 天竺山(310m)～横沢入
ラクダコース 歩行約2時間

つたが、360度の展望は素晴らしい。
西川さんが瓶入りの美味しい焼酎を
持参してストレートやお湯割りで頂く。
お湯を沸かし、インスタント味噌汁、仕
上げはドリップコーヒー。持参のお弁当
と持ち寄りの美味しいものでお腹はい
っぱい。

12時46分、相模湖駅を目指して下
山開始。下りも及川さんが先頭。奈良子
峠を経由して明王峠から相模湖だ。少し
降りると明王峠1.8キロの標識。冬枯
れの雑木林を下ってゆく。



途中に「カラ類の群れ」という標本の
ように鳥の絵のある案内板がある。シジ
ユウカラ、ヤマガラ、エナガ、ヒガラな
どが見られるらしい。繁殖期にはこれに
メジロやウグイス、コゲラなども一緒に
行動するとある。

1時過ぎ、森は針葉樹になってくる。
1時30分、奈良子峠を通過。右に奈
良子尾根を下れば藤野駅方面だ。

この後、和田さんの足がつって少し治
療をする。原因は冷えや水分不足、ミネ
ラル不足などが考えられるが、朝のスト
レッチも足りなかったかと反省。その後
も二度ほど休憩して治療（ホカロンなど）
するが無事に下山できる。

1時48分、明王峠。トイレ休憩。与
瀬神社まで4.1キロとある。まだ少し
長い。

2時出発。少し下ると登山道沿いには
大きな桜の古木が並んでいる。花見の時
期は良さそうだ。途中「石投げ地藏姥ヶ
塚」とあり石がうず高く積まれている。
2時34分、右、「奈良本、吉野バス停」
とある。やはり藤野駅方面への道だ。
我々はまっすぐ矢ノ音方面に進む。

2時47分、右、矢ノ音山頂300m
の看板、急坂とある。左の巻き道を進む。
すぐ先の右側に茶屋か東屋の名残か
今は使われていない建物がある。非常時

には避難場所にもなりそうだ。左³側
に標柱。「太平」とある。ベンチやテーブ
ルもあるので休憩所か。

3時半、分岐点。右は与瀬神社、左は
孫山とある。右の神社を目指す。雲が多
かったが少し日差しがこぼれてきた。

3時35分、与瀬神社まで900mの
標識を通過。岩の多い下りになる。

3時54分、相模湖が眼下に見える。ポ
イントで休憩。ベンチとテーブルがあり
がたい。正面の山は石老山だ。ゴールの
相模湖町の街並みも見える。さあ、あと
500mだ。ゆっくり慎重に降りてゆく。

4時半、与瀬神社到着。立派な神社だ。
急な階段を避けて左側の舗装路で降り
てゆく。左の慈眼寺を見ながら中央高速
を越える。降りて左側を線路沿いに進む。

4時5
0分、相模
湖駅着。

駅前の
かどやで
ビールを
頂いたの
は6名。ワ
カサギの
フライな
どで打ち
上げる。



